

平成 18 年度 栃木の子どもの学力向上を図る学習指導プラン

確かな学力を育むために

【中学校・理科】



平成 19 年 1 月

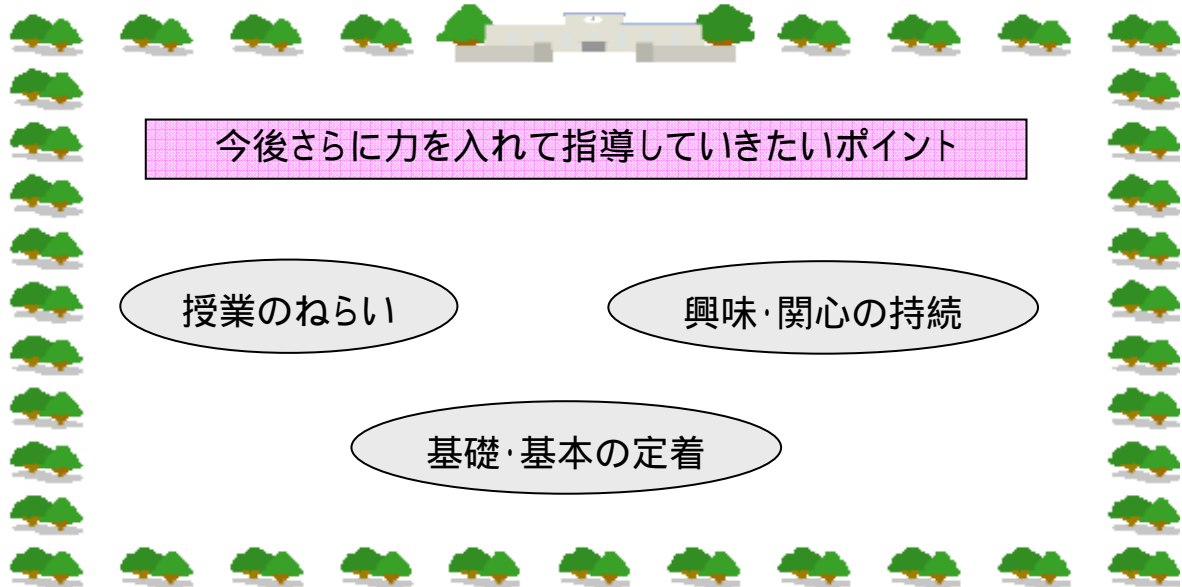
栃木県総合教育センター

本県では、児童生徒の学習状況を把握するため、昭和 47 年度から「学力水準調査」を、平成 7 年度からは「学習状況調査」を実施してきました。また、全国の状況と比較するため、平成 14 年度、平成 16 年度には「教育課程実施状況調査」を実施しました。

これらの調査のうち、主に「学習状況調査」と「教育課程実施状況調査」の結果を再度分析し、学習指導の充実・改善を図るためのポイントを教科ごとにまとめました。

各学校でご活用いただき、「確かな学力」を育むための学習指導の充実・改善にお役立てください。

これまで本県で実施してきた学習状況の調査は、出題範囲が第1学年の一部と第2学年の12月までに学習する内容に限られていました。今回は、これまでの調査結果からみえた指導のポイントを踏まえ、第1学年から第3学年までの内容について、学習指導プランを作成しました。平成17年度に3回シリーズで発行した「栃木の子どもの学力向上を図る授業改善プラン」と併せて、先生方の日頃の学習指導にお役立てください。



教師が授業のねらいを明確にもちましよう

- 1 「気付かせる」ことをねらいとした授業 P 2
- 2 「考えさせる」ことをねらいとした授業 P 3
- 3 「理解させる」ことをねらいとした授業 P 4

興味・関心を持続させる工夫をしましよう

- 1 天体の学習 P 5
- 2 地質の学習 P 7
- 3 植物の観察 P 9
- 4 磁界の学習 P 10
- 5 日常生活との関連 P 12

基礎・基本を確実に身に付けさせましよう

- 1 いろいろな領域で必要となる技能の習得 P 13
- 2 繰り返し使う基礎的な知識の定着 P 15